

ごあいさつ

2025年度京都高齢者大学校の開講に寄せて



伊藤 正恵 校長
(長浜バイオ大学 学長)

京都高齢者大学校は、京都の高齢者団体や有志が協力し、「教養の向上、生きがいの創造、生活設計に必要な知識の習得」を目標に、2013年に開校しました。高齢者が好奇心を持って学び、生き生きと生活することを目指し、学校法人関西文理総合学園長浜バイオ大学が運営しており、今年度は13年目となりました。

京都高齢者大学校も、2020年からの3年間、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、昨年2024年度は、本来の活動を取り戻すことができました。

本大学校は、2025年度も古都の学舎として、「京都ならではの」の講座を多く開設します。京の歴史と文化を学び、京の匠の仕事を知り、百人一首を片手に京のまちあるき。日本初の自治体オーケストラとして1956年に設立された京都市交響楽団メンバーによる音楽と触れ合う教室。そして、2024年に開園100周年を迎えた日本最古の公立総合植物園、京都府立植物園では植物を鑑賞しながら散策します。古より続く伝統と時代に先駆ける先進性が同居する京都を体感していただけることでしょう。また、近年の科学技術の進歩は目覚ましく、新型コロナウイルスの制御には、全く新しいメカニズムのmRNAワクチンが世界中で使用されました。皆さまをバイオサイエンスの世界へご案内する講座にもご期待下さい。

今、街では、あらゆることがスマホを使って行われるようになり、ChatGPTを始めとする生成AIが、生活や教育・仕事の現場まで変えようとしています。伝統工芸や文化も、その形や表現方法が変化してきました。このような中、高齢者もその知的好奇心を刺激されることが多いことと思います。京都高齢者大学校を、そのような皆様の学びの場としてお役立ていただき、積極的に社会に参加し、日々、彩り豊かに生活する一助としていただければ幸いです。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

京都高齢者大学校の沿革

<設立>

京都高齢者大学校は、学校法人関西文理総合学園関係者をはじめ、京都の高齢者団体や有志が協力して、1年間の準備期間に6回の公開講座を開催し、2013年4月に開校しました。

<経過>

- 2013年4月 : 学校法人関西文理総合学園鞍馬口学舎（旧予備校。関西文理学園）にて開校。
初年度は155人が入学。
- 2015年度 : 現在の河原町学舎に移転。
学校法人関西文理総合学園長浜バイオ大学の社会貢献事業として講座数を増やした。
- 2017年度 : 福知山市に北近畿校を開設。
- 2018年度 : 「京都社会人大学校北近畿校」の名称で北部地域の学びの場として各講座を展開。
- 2020年度 : 新型コロナウイルスの影響を受け、1講座のDVD配信を除いて1年間休校。
- 2021年度 : 新型コロナ感染対策を講じながら講座開催。
定員超え講座の抽選漏れ救済対策を講じた。
- 2022年度 : オープンキャンパス、公開講座を開催。
- 2024年度 : 広域から662名の受講生が884講座を受講。